ベネズエラ情勢（内政・外交：令和６年５月）

１　内政

（１）　次期大統領選挙にむけた与野党の動き

（ア）　２日、マリア・コリナ・マチャド氏は、大統領選挙に向けたキャンペーンのためスリア州を訪問し、同州の野党関係者の参加もあったが、ロサレス州知事との会合等は実施されなかった。

（イ）　８日から９日にかけて、マチャド氏は、大統領選挙に向けたキャンペーンのためにトゥルヒージョ州を訪問した。９日、ホルヘ・ロドリゲス政権側国会議長及びデルシー・ロドリゲス副大統領もトゥルヒージョ州を訪問し、マルケス同州知事と大統領選挙に向けた政治集会を実施した。

（ウ）　１６日、マドゥーロ大統領は、次期大統領選挙に向けた自身の選挙チームを発表し、ホルヘ・ロドリゲス政権側国会議長をコーディネーターに指名した。同チームの主要構成員として、ディオスダド・カベージョ・ベネズエラ統一社会党（PSUV）第一副党首、デルシー・ロドリゲス副大統領、エクトル・ロドリゲス・ミランダ州知事、シリア・フローレス大統領夫人等が指名された。

（エ）　１８日、アラグア州ビクトリア市にて、エドゥムンド・ゴンサレス野党側統一候補とマチャド氏は、野党統一プラットフォーム等野党幹部等とともに次期大統領選挙に向けた選挙集会を実施。同日同市にて、ディオスダド・カベージョ PSUV 第一副党首も選挙集会を実施した。

（オ）　２２日、２３日にマチャド氏がアプレ州とアマソナス州を訪問し、集会を実施した。２３日、ディオスダド・カベージョ PSUV 第一副党首もアマソナス州において集会を実施した。

（カ）　２４日、ゴンサレス野党統一候補が、カラカス首都区エル・セメンテリオ地区のバリオ・エル・レオンを訪問し、集会を実施した。

（キ）　２４日、マドゥーロ大統領は、ボリバル州の国営企業、Conductores de Aluminio del Caroní への訪問と、同州スクレ橋の開通式を行うために同州を訪問し、与党支持者から歓迎を受ける様子が報道された。

（ク）　２５日、ホルヘ・ロドリゲス政権側国会議長及びデルシー・ロドリゲス副大統領がスクレ州クマナ市で、ディオスダド・カベージョ PSUV 第一副党首がアンソアテギ州バルセロナ市で選挙集会を実施した。

（ケ）　２８、２９日に、マチャド氏がララ州を訪問して集会を実施した。２９日、ホルヘ・ロドリゲス政権側国会議長もララ州を訪問し、集会を実施した。

（コ）　３１日、ゴンサレス候補は、マチャド氏等と共に、ミランダ州グアティレにて集会を実施した。同日、ホルヘ・ロドリゲス政権側国会議長及びデルシー・ロドリゲス副大統領が同様にグアティレにて集会を実施した。

（サ）　３１日、ゴンサレス候補のグアティレにおける集会にステージトラック、音響機材を提供した業者がそれぞれ当局に拘束され、翌６月１日に解放された。

（シ）　３１日、ディオスダド・カベージョ・ベネズエラ統一社会党（PSUV）第一副党首はモナガス州マトゥリンで集会を実施した。

（ス）　３１日、マドゥーロ大統領は、カラボボ州プエルト・カベージョにて集会を実施した。

（２）　その他

（ア）　１日のメーデーに際し、カラカスを始め国内各地で、労組、年金受給者等が最低賃金引き上げ等を求めて行

進を実施した。マドゥーロ大統領は、包括的最低収入を１３０米ドルに引き上げる旨発表した。

（イ）　２日、サーブ検事総長は、大衆意志党のレオポルド・ロペスと正義第一党のフリオ・ボルヘス（共に国外に滞在）が、PDVSA-Cripto の汚職事件に関連して１０億米ドル以上の利益を受け取ったとして、両名に対する逮捕・引渡命令を請求した。

（ウ）　７日、政権側国会は、「帝国主義封鎖に対する社会保障年金保護法」の第二回審議を実施し、同法案を承認した。民間企業に新たな拠出金を課す同法の承認を巡って、ベネズエラ経団連やベネズエラ財務監視団等の産業界から、経済への影響を懸念する反応が示された。

（エ）　２９日、マドゥーロ大統領は、高齢者省の創設を発表し、翌３０日に右創設にかかる大統領令に署名した。

２　外交

（１）　要人往来

（ア）　２日、パドロン観光大臣は、キューバのカヨ・ココで開催された第４２回キューバ国際観光フェア開会式に参加した。

（イ）　８日、マドゥーロ大統領は、当地を訪問中の、Chen Zhou 中国共産党中央対外連絡部副部長と会談を実施し、中国共産党と、ベネズエラ統一社会党(PSUV)の協働を強化していく意思を表明した。

（ウ）　９日、ヒル外相は、スリナムの首都パラマリボで開催された第２９回カリブ諸国連合（ACS）閣僚級会合に出席した。同会合のマージンで、ヒル外相は、ラムディン・スリナム外相と会談を実施し、経済、農業、観光業等にかかる分野に関して協議した。

（エ）　１０日、ヒル外相は、当地を訪問中のマヌエル・ジョゼ・ゴンサルヴェス・モザンビーク外務協力副大臣と、農牧生産、鉱山、住宅、文化、教育、女性とジェンダー平等、炭化水素分野等にかかる１０件の協力合意に署名した。

（オ）　１３日、カラカスで開催された国連憲章擁護のためのフレンズグループ第二回コーディネーター会議のマージンで、ヒル外相はベルシーニン露外務次官と会合を実施し、相互利益のための協力を促進していく旨合意した。

（カ）　１３日、マドゥーロ大統領は、Yang Hongtao 中国共産党泰安市委員会書記と、両国間の戦略的関係を深化させるために会合を実施した。

（キ）　１５日、キューバを訪問中のヒル外相は、ディアスカネル・キューバ大統領及びロドリゲス同外相と会談を実施、両国の協力関係強化を確認した。

（ク）　２１日、トルコのアンカラにて、第４回ベネズエラ・トルコ合同委員会が開催され、２３日、右委員会の成果として、ヒル外相とフィダン・トルコ外相が、農業、保健・医療技術、民間航空、財政、人権保護、教育・大学奨学金等の分野での協力を推進する９つの合意文書に署名した。

（ケ）　２２日、マドゥーロ大統領は、王受文中国商務部副部長と、両国の貿易関係強化を目的として会合を実施した。また、同日、デルシー・ロドリゲス副大統領と王副部長は、ベネズエラ中国投資促進・相互保護協定に署名した。

（コ）　２２日、ヒル外相は、イランを訪問し、ライースィ・イラン大統領の国葬に参加した。

（サ）　２９日、マドゥーロ大統領は、ベネズエラを訪問中のトロヴォアダ・サントメ・プリンシペ首相及びド・エスピリト・サント・グアダルペ同外相と会談を実施した。トロヴォアダ首相及びド・エスピリト・サント・

グアダルペ外相は、ヒル外相とも会談を実施し、外交・公用旅券の査免合意に署名した。

（シ） ２９日、ゴメス国際観光担当観光相次官は、ガレット・バルバドス観光マーケティング事務所ラテンアメリカ部長と、観光分野での協働に関する覚書に署名した。

（２） EU 選挙監視団に関する動き

（ア） １３日、EU が全国選挙評議会（CNE）のアモロソ委員長及び元 CNE 関係者３名に対する個人制裁の一時停止、並びにその他の対ベネズエラ個人制裁の適用期間を２０２５年１月１０日まで延長することを決定した旨発表した事に対して、同日、ベネズエラ政府及び CNE は右決定を拒絶する旨のコミュニケを発出した。

（イ） １４日、ホルヘ・ロドリゲス政権側国会議長の発案により、政権側国会は、EU 選挙監視団の次期大統領選挙に対する招待を取り消すよう、CNE に対して要請を行う旨決議した。

（ウ） ２８日、CNE は、EU 選挙監視団に対する次期大統領選挙への招待を取り消す決定を発表した。同日、EU は、EU 選挙監視団への招待はバルバドス合意に規定されていると指摘し、CNE に対して同決定を撤回するように求めた。翌２９日、CNE は右 EU の発表を拒絶するコミュニケを発出した。

（エ） ２９日、ゴンサレス候補、マチャド氏、バルボサ野党統一プラットフォーム事務局長の連名で、CNE の決定を撤回するよう、マドゥーロ政権に要請するコミュニケが発出された。

（オ） ２９日、タヤーニ伊外相は、自身の X アカウントにて、CNE の決定に対する懸念を表明した。

（カ） ３０日、米国務省は、CNE の決定を撤回するよう求める報道官ステートメントを発出した。

（３） その他

（ア） １日、Franklin Mauricio Zeltzer Malpica 駐バチカン・ベネズエラ大使が、フランシスコ・ローマ教皇に信任状を捧呈・マドゥーロ大統領は SNS 上で謝意を表明した。

（イ） ４日、国家警備軍（GNB）は、タチラ州北部にて、コロンビアからカラカスに向かっていた外交ナンバーの車両から、１９４キロの薬物を押収した旨発表した。

（ウ） ６日、ベネズエラ政府は、５日に実施されたパナマの総選挙（大統領選挙、国会議員選挙、市長選挙等）が成功裏に終了したこと、並びに当選したムリーノ次期大統領に対して祝意を表明するコミュニケを発出した。

（エ） ６日、ベネズエラ政府は、ガザ地区南部ラファに対するイスラエルの空爆を拒絶する旨のコミュニケを発出した。

（オ） ７日、マドゥーロ大統領は、自身の X アカウントで、同日開催されたプーチン露大統領の就任式に際して、右就任に対する祝意を表明するツイートを発信した。

（カ） ８日、政権側国会にて、ベネズエラ・コンゴ共和国友好議員グループが設立された。

（キ） １０日、ベネズエラ政府は、国連総会においてパレスチナの国連加盟を支持する決議案が採択されたことに関して、パレスチナ国民の外交的勝利であるとして、祝意を表明するコミュニケを発出した。

（ク） １６日、ベネズエラ政府は、米国がニカラグアで操業する鉱山会社２社及びマナグアに所在する露国家警察訓練センターに対して制裁を課したことに対して拒絶を表明するコミュニケを発出した。

（ケ） １９日、ベネズエラ政府は、コンゴ民主主義共和国で発生したクーデター未遂に対する拒絶を表明するコミュニケを発出した。

（コ） １９日、ベネズエラ政府は、同日ドミニカ共和国で実施された大統領選挙で再選を確実にした、ルイス・ア

ビナデル候補（現職）に対する祝意を表明するコミュニケを発出した。

（サ）　２０日、ベネズエラ政府は、ライースィ・イラン大統領の逝去に関して、弔意を表明するコミュニケを発出した。

（シ）　２０日、ベネズエラ政府は、同日台湾で実施された頼清徳新総統就任式における演説を、分離主義的立場であると拒絶し、中国政府が掲げる「一つの中国」に対する支持を表明するコミュニケを発出した。

（ス）　２５日、カラカスで実施されていたコロンビア政府と民族解放軍（ELN）の交渉の結果、和平交渉への社会参加に関する合意が署名された。

（セ）　３１日、ベネズエラ政府は、第２７回カリコム外交・共同体関係理事会において、ガイアナ・エセキボ領土問題に関してベネズエラがガイアナに対して攻撃的な態度を継続していると指摘する声明が発表されたことを受けて、右声明を拒絶するコミュニケを発出した。